

## 2026 年度日本蛋白質科学会正会員総会 ／名誉会員証授与式／若手賞各表彰式のご報告

2026 年 7 月 1 日

第 26 回日本蛋白質科学会年会は、6 月 17 日 (水) から 19 日 (金)、前日 16 日 (火) に蛋白質工学研究会、蛋白質科学基礎講座、若手の会をとりぎん文化会館にて開催しました。また、18 日 (木) に 2026 Joint Conference on Protein Science– Korean Society for Protein Science (KSPS) & Protein Science Society of Japan (PSSJ)も同会場にて開催いたしました。

第 26 回年会は前回大会に続き 1,000 名を超える多くの方々にご参会いただき、盛況のうちに終了いたしました。これもひとえに会員、参加者、実行委員会、スタッフ、関係企業の皆様のご協力とご支援の賜物と心より感謝申し上げます。都会の喧騒を離れた落ち着いた街並みにある会場ながら、一歩中に入ればどの会場も熱気と活気に溢れ、新たな蛋白質科学の時代の到来を感じさせる活発な議論が繰り広げられました。

正会員総会は、第 26 回年会開催期間中の 6 月 19 日 (金) に開催いたしました。事前に行われた代議員総会に基づき、正会員へ 2025 年度事業報告、決算、2026 年度事業計画、予算の報告が行われました。その後、蛋白質科学会アーカイブについてアーカイブ編集委員長より説明とみなさまへ投稿のお願いがございました。

正会員総会后、名誉会員証授与式が行われました。名誉会員は会長推薦で日本蛋白質科学会の発展にご尽力いただいた (当年度) 70 歳以上の会員から選出されます。今年度は、下記の 4 名の先生がご選出されました。

- 後藤 祐児 先生 (大阪大学特任研究員)
- 佐藤 衛 先生 (横浜市立大学名誉教授)
- 城 宜嗣 先生 (兵庫県立大学教授)
- 姚 閔 先生 (北海道大学名誉教授)

名誉会員証授与式は佐藤衛先生、城宜嗣先生にご出席いただきました (後藤祐児先生、姚閔先生は、残念ながら所用でご欠席でした)。



引き続き、日本蛋白質科学会若手奨励賞、ポスター賞の表彰が行われました。

各賞の表彰は、蛋白質科学にかかわる若手研究者を奨励することを目的とし、2008 年度からポスター賞と若手奨励賞の表彰をしています。書類選考により若手奨励賞を選び、その受賞者の講演を審査することにより若手奨励賞優秀賞の受賞者を決定しています。

若手奨励賞には本年は 36 名の応募者があり、事前の書面審査により 7 名が受賞者として選考されました。奨励賞受賞者の皆さんには、大会 2 日目 (6 月 18 日) の午前中に開催された若手奨励賞シンポジウムにおいて、13 分の講演と 5 分の質疑応答を英語で行っていただき、厳正な審査が行われました。その後、会長を審査委員長とする審査委員会において、3 名の優秀賞受賞者を決定いたしました。

正会員総会場で、下記の3名の若手奨励賞優秀賞受賞者が発表され、会長から表彰状が授与されました。若手奨励賞優秀賞受賞者には、副賞として記念の楯と来年のProtein Societyに参加するための渡航助成費用が贈られる予定です。

#### 若手奨励賞優秀賞3名（発表番号順）

- 白石 大智（名古屋大学）  
Translation-coupled chaperone TCP11 ensures proper ODF1 regulation and outer dense fiber assembly
- 小林 和弘（東京大学）  
The dynamic basis of G-protein recognition and activation by a GPCR
- 相馬 哲兵（東京大学）  
Structure and engineering of the large serine recombinase Bxb1

#### 若手奨励賞4名（発表番号順）

- 横尾 尚典（慶應義塾大学）  
Development of therapeutic antibodies against chronic itch targeting synaptic organizers based on physicochemical and structural approach
- 久保 進太郎（理化学研究所）  
An essential tri-site intermediate drives ATP synthesis in F1 ATPase
- 野地 真広（東京科学大学）  
Design and tuning of two-component protein tubular assemblies
- 福永 彩美（東京大学）  
Structure, function, and physiology of vasopressin-oxytocin crosstalk



若手奨励賞に先立ち、ポスター賞受賞者の表彰が行われました。学生会員を対象とするポスター賞には195名の応募がありました。1分間のフラッシュトークとポスター発表の内容を基に、審査委員による厳正な採点が行われ、各分野から下記23名の受賞者を決定しました。受賞者の皆さんには、表彰状が授与されました。

## ポスター賞 23 名 (発表番号順)

- 武川 祐一郎  
狂犬病ウイルスによるシグナル伝達経路の阻害順位を規定する分子機構
- 徳久 歩乃佳  
ユビキチン鎖の均一型・分岐型を識別する UCH37-RPN13 のユビキチン鎖切断機構
- 吉田 昌紘  
黄色ブドウ球菌由来ヘム結合タンパク質 IsdA の超高分解能 X 線結晶構造解析
- 阪野 文椛  
変身タンパク質の翻訳時シャペロン依存フォールディング
- 太田 朝貴  
超音波照射法を用いたタンパク質クラウディングを再現した生体液模擬系における  $\alpha$ -synuclein アミロイドシードの高感度検出
- 山口 理湖  
アレルギー関連因子 IL-33 を標的とした小型タンパク質バインダーの理論設計
- 室園 晃輝  
フラグメント抗体の位置選択的・タグフリー修飾を実現する架橋酵素融合タンパク質の開発
- 伊藤 沙衣  
Data-driven optimization of antibody thermal stability and affinity via high-throughput physicochemical analysis and deep learning
- 青木 斗真  
人工知能で予測された多状態の強化サンプリングに基づくタンパク質の自由エネルギー計算手法の開発
- 藤井 貴裕  
タンパク質分散系において遊離アミノ酸が引き起こす安定化効果
- 大村 拓登  
ML/MM toolkit: End-to-end workflow to compute activation Gibbs free energy from enzyme-substrate complexes using ML interatomic potentials
- 手代木 陽介  
CGRig: a rigid-body protein model with residue-level interaction sites for long-time and large-scale protein assembly simulations
- 片野 真熙  
複数のプロトン駆動トルク発生ユニットを持つ天然  $F_0F_1$ -ATP 合成酵素: *Acidaminococcus fermentans* 由来  $F_0F_1$  のクライオ EM 構造と機能解析
- 小林 悠人  
X 線小角散乱データと分子動力学シミュレーションの融合による pierisin-1 の立体構造解析
- 東 朋花  
ヨコヅナクマムシ由来新規メタロプロテアーゼの構造基盤解析
- 益田 優月  
トランスサイレチン 49-127 断片の初期構造と会合状態の解析
- 長尾 海星  
WSME-L モデルによる構造類似タンパク質間の異なるフォールディング様式の再現

- 藤塚 健次  
α-シヌクレイン液滴の老化過程およびαB-クリスタリンによるその抑制機構の解明
- 朝倉 陽菜  
化学修飾された抗 HIV-1 ナノボディの有用性の探査と合理的な分子設計
- 田村 裕貴  
抗体成熟化プロセスの構築：NGS 解析データを用いた機械学習による機能実測を介さない標的親和性向上
- 前田 皓丞  
不凍タンパク質による小胞体膜流動性保持を介した非凍結低温細胞死抑制機構の解明
- 伊藤 敦之  
P-glycoprotein の構造遷移を利用した基質・阻害剤判別法の開発
- 小西 雄大  
ミトコンドリアタンパク質品質管理における出芽酵母アルデヒドデヒドロゲナーゼ Hfd1 の機能解析



受賞者の皆様、おめでとうございます！若手奨励賞、ポスター賞受賞者のコラムは、ニュースレターで順次ご紹介いたします。お楽しみに！

なお、次回 2027 年度の第 27 回年会 (<https://aeplan.jp/pssj2027/>) は、2027 年 6 月 28 日 (月) ~30 日 (水) に福岡国際会議場 (福岡県福岡市) 〈年会長：稲葉謙次・九州大学〉で開催されます。関係の皆様の協力を得て、若手の会、蛋白質工学研究会、基礎講座についてもさらに充実させる予定です。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

#### 電子メール版ニュースレター発行

日本蛋白質科学会事務局

E-mail: [jimu@pssj.jp](mailto:jimu@pssj.jp), URL: <https://www.pssj.jp>

編集責任者：

玉田 太郎 (量子科学技術研究開発機構)

山下 敦子 (大阪大学・蛋白質研究所)